

第27回大阪リーグチーム成績

チーム成績

優勝	サヌキクラブ	12勝	2敗	2引き分け	、857
準優勝	マックス	12勝	2敗	2引き分け	、857
第3位	TBC	12勝	2敗	2引き分け	、857
4	パンパース	11勝	5敗		、687
4	関西チューブ	11勝	5敗		、687
4	パワーズクラブ	11勝	5敗		、687
7	WINNER	10勝	5敗	1引き分け	、667
8	セイロガンズ	10勝	6敗		、625
9	マーベリック	8勝	7敗	1引き分け	、533
10	ビクトリーズ	7勝	8敗		、467
11	新MAX	6勝	9敗	1引き分け	、400
11	中野クラブ	6勝	9敗	1引き分け	、400
13	スピリッツ	4勝	10敗	1引き分け	、286
14	ファルコンズ	4勝	12敗		、250
15	関西ヒーローズ	2勝	14敗		、125
15	アビリティーズ	2勝	14敗		、125
17	卓麻クラブ	1勝	14敗	1引き分け	、067

優秀選手

最高殊勲選手 敢闘賞

サヌキクラブ	古賀 資章
マックス	永原 昭弘
TBC	山口 証
パンパース	東 健一
関西チューブ	楠田 勝浩
パワーズクラブ	中本 徹
WINNER	神原 繁信
セイロガンズ	島田 卓
マーベリック	中原 英生
ビクトリーズ	坂本 貴則
新MAX	田宮 健治
中野クラブ	愛原 淳司
スピリッツ	岩田 陽介
ファルコンズ	林 順市
関西ヒーローズ	米 敬三
アビリティーズ	前岡 誠
卓麻クラブ	金森 信詞

第27回大阪リーグ 個人打撃成績

順位	チーム名	氏名	打率
首位打者	パワーズクラブ	松浦 光宏	、487
第2位	サヌキクラブ	御立田陽嗣	、454
3	パンパース	川岸 祐治	、452
4	アビリティーズ	前岡 誠	、444
5	マックス	永原 昭弘	、419
5	WINNER	島田 将史	、419
7	スピリッツ	飯塚 泰成	、407
8	サヌキクラブ	水滝啓一郎	、400
9	新MAX	阪本 敬尚	、395
9	中野クラブ	坂手 敬二	、395
11	アビリティーズ	米沢 智宏	、392
12	セイロガンズ	伊藤 克利	、391
13	サヌキクラブ	古賀 資章	、388
13	マックス	中川 裕	、388
15	セイロガンズ	中谷 忠義	、386
16	サヌキクラブ	福山 光也	、382
17	関西チューブ	佐野 康和	、381
18	新MAX	中野 真樹	、380
19	サヌキクラブ	伊井 剛	、378
20	マーベリック	西井 宗廣	、375
21	マーベリック	穴口 英司	、357
22	TBC	柏原 克彦	、356
23	パワーズクラブ	辻岡 功	、354
23	ビクトリーズ	永田 浩二	、354
25	WINNER	井原 延治	、349
26	アビリティーズ	薄井 裕人	、343
27	アビリティーズ	竹内 雅和	、333
27	関西チューブ	垣見 智裕	、333
27	中野クラブ	中嶋 佑介	、333
27	セイロガンズ	島田 卓	、333
27	セイロガンズ	籠本健太郎	、333
27	ビクトリーズ	高橋 達也	、333
27	WINNER	東 良次	、333
27	TBC	山口 証	、333

第27回大阪リーグ

本塁打部門

第一位	中野 真樹	新MAX	3本
第一位	松浦 光宏	パワーズクラブ	3本
第一位	山口 証	TBC	3本

打点部門

第一位	松浦 光宏	パワーズクラブ	21点
第二位	古賀 資章	サヌキクラブ	19点
第三位	中野 真樹	新MAX	17点

	得点部門		
第一位	中辻 順亀	パワーズクラブ	16点
第二位	柏原 克彦	TBC	14点
第二位	佐野 康和	関西チューブ	14点
第二位	辻岡 功	パワーズクラブ	14点
第二位	久保 繁樹	WINNER	14点
第二位	島田 将史	WINNER	14点

盗塁部門

第一位	柏原 克彦	TBC	25個
第二位	佐野 康和	関西チューブ	22個
第二位	穴口 英司	マーベリック	22個

	出塁率部門		
第一位	松浦 光宏	パワーズクラブ	、574
第二位	御立田 陽嗣	サヌキクラブ	、555
第三位	中谷	セイロガンズ	、520

第27回大阪リーグ

勝利投手部門

第1位	永原 昭弘	マックス	12勝1敗
2	山口 証	TBC	12勝2敗
3	嘉流 士	パンパース	10勝5敗

準完全試合

永原 昭弘	マックス	平成17年3月20日 対 関西ヒーローズ
永原 昭弘	マックス	平成17年7月31日 対 ピクトリーズ
山口 証	TBC	平成17年11月27日 対 セイロガンズ

大阪リーグ開催要綱

- 1 大阪リーグは、楽しく試合をして、勝負することを目的とする。
- 2 年会費は、1チーム1万円とする。(年間表彰トロフィ代及び参加賞)
- 3 月会費は、1チーム5千円とする。(マネージャ会議及び納会補助金)
- 4 毎月最終月曜日にマネージャー会議を開き翌月の日程を決める。
- 5 リーグ参加チームは、毎月最低2時間のグラウンドの提出をする。
- 6 年々グラウンド確保が厳しく成り、抽選の確率も悪く、一人でも多く抽選に参加して下さい。皆様の協力がないと、継続が難しく成ります。努力しないチームは、除名することも有ります。朝7時～9時の試合も全チーム参加して下さい。
- 7 グラウンド費用の清算は、当月の全会費を全チームで等分する。
- 8 リーグ戦の試合は、1回戦総当たりの1チーム16試合として優勝は勝率で決定する。同率の場合は、全日程終了後に決定戦を行う。
- 9 リーグ戦は、全試合消化して終了とする。事情により最小試合数のチームが15試合を消化した時点で終了する。
- 10 試合時間は、グラウンド使用10分後とし1時間35分経過後は、新しいイニングには入らない事とする。試合途中で時間オーバーの場合は、前の回で成立する。
- 11 7回終了時に同点の場合、引き分けとするが、時間内の延長戦を認める。
- 12 4回終了は、試合成立。
- 13 審判は、攻撃側から出る事とする。
- 14 審判の判定は、絶対のものとし、抗議は一切認めない。但し例外は除く
- 15 塁上の判定は、タイミングで判定する。但し例外は除く
- 16 きたないヤジ及び個人攻撃のヤジ及び塁上でのヤジは謹む事。
- 17 リーグ戦に連盟が重なった場合及び都合でリーグ戦が出来なく成った場合、木曜日迄に相手チーム及び小野氏迄必ず連絡する事。連絡なき場合は不戦敗とする。
- 18 試合開始時間より20分経過しても、9名揃わない時は、不戦敗とするが、相手から借りて試合出来れば個人記録は認める。但し不戦敗チームの投手は関係無し。不足分を相手チーム以外より補充出来れば正試合として認める。(投手としては出場出来ない)
- 19 10人攻撃野球を認める。各チームの選択に任せる。
- 20 ユニフォーム及び帽子は、各チーム統一して、試合をする事。
- 21 グラウンドの整備、ゴミ及びタバコの後始末は、各自が責任をもってする事。特に学校においては、タバコの後始末は、ベンチ付近は勿論、グラウンド全体及び駐車場にも気配りして下さい。
- 22 表彰は、次の各部門を、納会の席で行います。
優勝チーム、準優勝チーム、第3位チーム、
最高殊勲選手は優勝チーム、敢闘賞は2位以下全チーム各1名、
打率1位～30位、本塁打、打点、得点、出塁率、盗塁、最多勝利投手は1位～3位迄表彰、
完全試合、準完全試合の表彰、